

医・歯・薬 連携で 薬剤関連顎骨壊死・ 顎骨骨髓炎を予防しよう!

— 薬剤関連顎骨壊死・顎骨骨髓炎対応マニュアル 令和7年改定における2つの留意点 (27頁) —

骨吸収抑制薬
(ビスホスホネート製剤とデノスマブ製剤) を
使用中の侵襲的歯科治療
▼
定期的歯科受診・治療メリットと
発症リスクを勘案

悪い歯は
放置しない

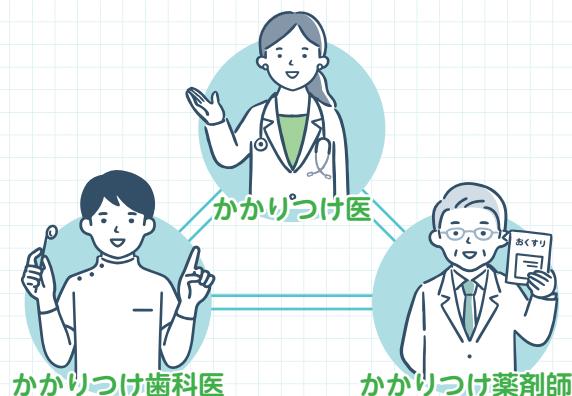
抜歯前の低用量の
骨吸収抑制薬の取り扱い

原疾患の
治療も大切

▼
原則、予防的な休薬をせずに抜歯を提案
ハイリスク症例では、
ごく短期間の休薬を完全に否定しない

薬剤関連顎骨壊死・顎骨骨髓炎予防のポイント 医・歯・薬 連携

- 正しい知識の説明（口腔ケア）と受診勧奨
- 骨吸収抑制薬開始前・後の定期的歯科受診
(画像診断が重要)
- 情報共有
(治療薬等の内容、症状、口腔管理など)



重篤副作用疾患別対応マニュアルを日常業務の中で活用してみよう！



“歯やあごが痛い”、“歯のぐらつき”、
“唇の周りがしびれる”
などの症状に気づいたら医師、歯科医師、
薬剤師等に相談するように患者支援

重篤副作用疾患別対応
マニュアルはこちらから
ご覧いただけます。

